



只見町ブナセンターだより

<ごあいさつ> 秋も深まり、^{よきむ}夜寒を覚える季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。10月1日より全線再開通を迎えた只見線で、車窓から色鮮やかな紅葉に包まれた山々や、昔懐かしい里山の景色を楽しみながら、只見へぜひお越しください。

===== 開 催 中 =====

【企画展】

自然素材を活かす技

- ^{まじ}木地、^{あみくみ}編み組、^{でんしょうさんびん}草木染めと伝承製品の魅力 -

只見町に暮らす人々は、豊かな自然環境を守りながら、自然を持続可能な形で活用してきました。広大な森林原野からは、煮炊きや暖房のための燃料、生活必需品の製作に必要な自然資材、山菜や野生鳥獣などの食料、さらに、住居の建築や農業資材も得ていました。

こうした天然資源を活かした只見町の暮らしは、只見町が自然と人間の共生の国際モデル地域であるユネスコエコパークに登録された重要な要因であり、私たちの持続可能な発展のために学ぶべき姿ではないでしょうか。

只見町では、そのような天然資源を活かした暮らしを理解していただくため、町民の方々が自然素材からつくり出した産品を「自然首都・只見」^{でんしょうさんびん}伝承産品として販売して

います。本企画展では、只見町の天然資源を使った産品のうち、植物を使ったものを取りあげ、素材となった多様な植物について解説するとともに、製作の過程と完成した製品を紹介しています。

多様な自然素材から紡ぎ出される数々の伝承産品を通して、只見町の自然と人々の暮らしに思いを馳せて頂ければ幸いです。

■会 期：2022年10月29日(土)～2023年3月27日(月)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー



【写真展】

この写真、どこ？ だれ？ 何してる？

－皆川文弥が撮った只見線が開通した頃の只見－

ふるさと館田子倉では只今、写真展を開催中です。昭和30年代頃の写真をはじめ、只見線が開通した頃の風景、50年前の只見線開通記念式典など、貴重な写真を展示しています。多くの方にご覧頂き、知り得る情報があれば、何でも付箋に書いて教えてください。

当時を知る人は懐かしい記憶が蘇り、知らない人は新鮮に感じることができる写真展となっています。

只見線再開通のこの時期に是非会場へお越しください。

■会 期：2022年8月11日(木)～

2022年11月28日(月)

■場 所：ふるさと館田子倉 2階会議室



只見町アナセンター主催写真展
この写真、どこ？ だれ？ 何してる？
皆川文弥が撮った只見線が開通した頃の只見
会場「ふるさと館田子倉」2階会議室

写真展について
皆川氏が生前に撮り溜めた大量のネガの中からテーマ別に抜粋した写真です。年代や場所、被写体の名も、分かる写真もありますが、不明な写真も少なくありません。そこで、是非にご覧頂き、「この場所知ってる!」「これはあそこの建物だ!」など、少しでも何か情報があれば是非に会場に設置された付箋に書いてください。情報を加えて頂けると、一枚一枚をみなさんと作り上げる写真展です。

皆川 文弥 さん
1984年4月12日 享年65歳
1992年、只見町子倉に開業の切符として生まれる。1997年に只見町役場に就職。その後、福島県民の福祉増進の為に、町長として3期連続で町政を担った。退職後も地域の発展に貢献し、多くの町民に愛された。2022年7月、癌を患い、8月28日、91歳で永眠された。

ふるさと館田子倉 2階会議室
2022年8月11日(木)～11月28日(月)
10時～17時(最終日は16時)
入場料：無料
お問い合わせ：0248-22-2222
E-Mail: info@furusatogakana.jp

2022.8.11(木)
→11.28(月)

=====**活 動 報 告**=====

【自然観察会】

真夏の昆虫観察会を開催

※ライトトラップについては「只見町の野生動植物を保護する条例」で禁止されております。

この観察会では特別に町の許可を得たうえで実施しております。

7月31日、朝・夜の部の二本立てで昆虫観察会を行いました。朝の部では、只見川沿いの草地を歩いて主にバッタ類の観察を行い、夜の部ではライトトラップで昆虫を集めたほか、ただみ・ブナと川のミュージアム周辺を歩いて夜間に活動する昆虫の観察を行いました。夜の部では、残念ながら目的のカブトムシやクワガタムシはあまり集まりませんでした。夜行性の昆虫が活動する様子や、昼行性の昆虫が休む姿を観察することができました。



▲朝の部の観察の様子



▲オオカマキリ



▲夜の部の観察の様子

【教育支援】 夏休み子ども教室主催の昆虫観察会を支援

8月22日（月）は「夏休み子ども教室」の主催により、ビオトープで行われた昆虫観察会を支援しました。

給食センター近くにあるビオトープは、ヨシなどの水草が繁茂した溜め池と、素掘りの水路から成っており、そうした水辺環境を好む水生昆虫が観察できます。溜め池では特にオオルリボシヤンマが多く、水路ではオニヤンマの幼虫が簡単に採集できます。この日は9種のトンボや、オオヤマカワゲラの幼虫、オオカマキリ、コガシラミズムシ、センノキカミキリ、ドジョウ、トウホクサンショウウオの幼体など、36種の生物が確認されました。子どもたちは夢中で網を振ってオニヤンマを追いかけ、子ども教室のスタッフの方々も「これほど沢山の生き物が見つかるのか」と感心された様子でした。



▲解説を聞く子どもたち

【地域振興】 ブナ林ブレンドワークショップ開催

ユネスコエコパークの自然資源を活用した地域振興の取組みとして「ブナ林ブレンドワークショップ」を開催しました。町のブランドでもあるブナや、その森に生育するアブラチャン、オオバクロモジ等の樹木の機能性成分に着目し、それらの枝葉を活用した商品開発を目的として全3回が予定されています。



▲試食会の様子

■第1回 6月28日（火）

現地で対象となる樹種の見分け方について紙谷館長の解説で学んだ後、新潟大学山口智子准教授の講座で植物に含まれるポリフェノールなどの抗酸化物質について学びました。また、数種類の葉を乾燥して作ったブナ林ブレンドのお茶を飲み比べ、参加者は単一種やブレンドによって異なるお茶の味や香りを確認しました。

■第2回 9月26日（月）

対象となる樹種を使って、試作した商品を持ち寄りました。生葉を漬けたドリンクや、乾燥葉を使用したお茶、クッキー、パンなどを試食し、樹種によって異なる風味の違いに驚いていました。また、乾燥葉を粉砕した粉を、ポテトサラダや鶏肉のソテーにスパイスとして使用する方法など新たな活用方法を学びました。参加者は様々な商品を試食しながら、販売に向けた原材料の調達等の課題を検討しました。

=====**お 知 ら せ**=====

【ブナセンター事務補助員のご紹介】

さいとう みまこ
齋藤 美貴子（ブナセンター事務補助員）

みなさま、こんにちは。只見で生まれ、只見で育ちました。霧氷をまとった樹木や初冬の浅草岳を見るのが好きで感動しています。充分すぎる自然に囲まれて生活していながら、詳しくは、分からない事ばかりです。この恵まれた環境で生活出来る事を活かし、私も、自然や歴史について学んでいきたいと思えます。そして、皆様のお役に立てるようになればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



只見町ブナセンター 令和4年度行事一覧（予定）

企画展

開催期間	タイトル	会場
2022/8/11 - 2022/11/28	この写真、どこ？ だれ？ 何してる？ - 皆川文弥が撮った只見線が開通した頃の只見 -	ふるさと館 田子倉 2階 会議室
2022/10/29 - 2023/3/27	自然素材を活かす技 - 木地、編み組み、草木染めと伝承製品の魅力 -	ただみ・ブナと川のミュージアム 2階 ギャラリー

講座・観察会

開催日	タイトル	会場・観察場所
2022/11/26	秋から初冬の野鳥観察会（3回目）	塩沢（滝湖周辺）
2022/12/17	冬のブナ林観察会	余名沢

<編集後記>

屋内で越冬場所を求めて集まったくさむし（クサギカメムシ）を見る機会が増え、秋の終わりを感ずります。町内では、11月上旬頃まで美しい紅葉を堪能できますので、紅葉を見に只見へお越しの際は防寒具をお忘れなく。さて、只見町ブナセンター附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」と「ふるさと館田子倉」では、ただいま新しい企画展や写真展を開催中ですので、ぜひお越しください。（三瓶）

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター



電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」・「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前9時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：高校生以上 310円（20人以上は団体割引） 小・中学生 210円

只見町在住の小・中・高校生 無料